

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		16
部	子ども健康部	課	子育て政策課	

1. 指定概要

施設概要	名称	安土こどもの家		建設年	平成 1 6 年（平成 2 6 年増築）		
	所在地	近江八幡市安土町小中 7 8 3 番地 1		利用対象	地域		
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。					
	規模	敷地面積 9 6 8 m ² 、延べ床面積 2 4 1 m ² 、階数 地上 2 階					
	指定管理 開始年度	平成 1 7 年					
指定管理者	名称	非営利活動法人三楽					
	所在地	埼玉県さいたま市中央区大戸6-11-18					
指定管理業務の内容		①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務					
指定期間		令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 1 2 年 3 月 3 1 日（5 年間）					
指定管理料		令和 5 年度：千円	令和 6 年度：千円	令和 7 年度：千円	令和 8 年度：千円（見込）		
利用料金制		採用している		選定方式	公募	応募者数	1 者

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和7年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備 日常的に施設内の清掃、施設の安全点検等を支援員が実施している。	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(施設運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 保護者会、役員会を開催して保育内容の報告を行っている。また、送迎時の日常的なコミュニケーションによる。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和7年度 4,738千円/ 4,354千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長保育は19時まで実施している。	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。また、学校や地域と連携を取り、運営された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(提案内容の実施業務) 自主事業 その他の業務	なし		(よかったと評価できる事項)
				(改善を要した事項と対応)
				(課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	安土第一/安土第二 ・開設日数： 265日/268日 ・延べ利用者数： 8,475名/8,404名 ・平均登録児童数： 46名/46名	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和7年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況		指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。	市補助金交付要綱に基づき適正に運営された。
		＜参考＞ 安土第一/安土第二 ■収入 (14,747千円/ 9,272千円) 保育料等 4,738千円/ 4,354千円 補助金 10,009千円/ 4,918千円 ■支出 (14,747千円/ 9,272千円) 人件費 13,666千円/ 8,190千円 管理運営費 1,081千円/ 1,082千円	(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	保護者アンケートをアプリで実施。
評価頂いている内容	・様々な行事をしていただけて子どもたちも喜んでいる。・学習の時間を確保しているのは助かる。・支援員が声をかけてくださるので、クラブのことを話しやすい。・クラブで起きた出来事を保護者に逐一報告しているので、クラブの生活がクリアになって安心できる。・安心して預けることが出来ている。
苦情・意見等	・行事の回数が減ったのでもう少し増やしてほしい。・子どもたちの見守りを強化してほしい。・子どもたちの言い分や思いを受け止めて問題を解決してほしい。・トラブルが多い児童の対応を強化してほしい。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

設備運営基準の適正人数通りの児童数ではあるが、あまりひとりひとりのスペースがなく、子どもたちが窮屈に生活している場面が多く見られる。 外遊びの際にも広さが足りず、あまり快適に活動できていない様子があり、小学校の運動場を活用する等の対策は講じたが、いける日数も少ないので、子どもたちの外での活動を保障できる場所が確保できるとありがたいと思っております。

6. 指定管理者の自己評価コメント

大人数のクラブなので支援員が創意工夫をして、児童が楽しく生活していけるように配慮して育成支援を行っている部分はある。児童たちも楽しく自身の役割を考えながらクラブ生活をしている様子も見られる。児童一人ひとりに対して関わりも持っているが、深く関わりも持つ時間があまり持てずに、個別対応が適切に行われていないと保護者からお聞きしている部分もある。そこがもとになり、保護者とのトラブルになっている事案も発生している。研修やミーティングの機会を増やして現状の課題に向き合い、今以上の支援員の資質向上にフォーカスしながら、放課後健全育成事業としての質を高めていきたい。

7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。児童の声を育成支援に活かす等の工夫や姿勢などが評価できる。一方で、保護者からの苦情もあることから、支援員間の情報共有や研修の受講とあわせて保護者とのコミュニケーションに一層努められるなど、対応策を講じられたい。。引き続き、学校や地域と連携した運営体制を築いていただきたい。しかしながら、年度終了後の事業報告書の提出が遅い結果となったため、来年度は期日内の提出となるように改善いただきたい。
